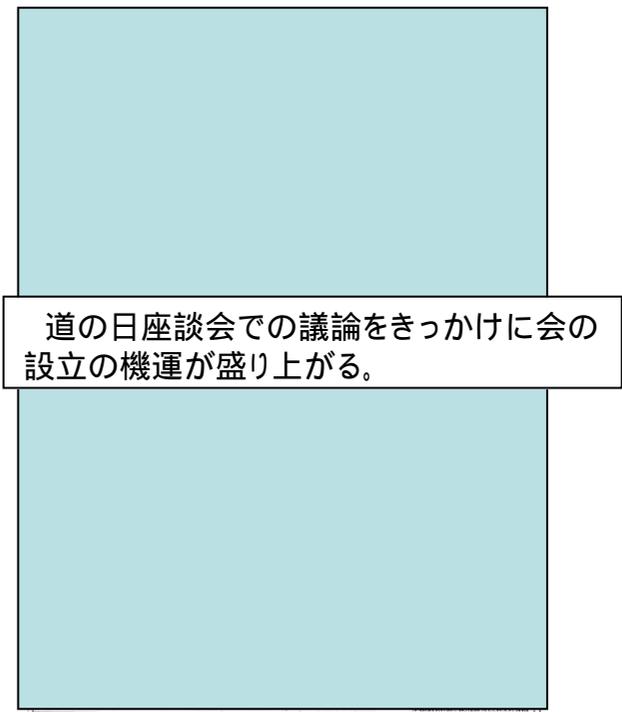


「にいがたのみちを快適に使う会」 について

『にいがたのみちを快適に使う会』の取り組み

- 行政と市民のつなぎ役として、道路が抱える様々な課題・問題点を道路ユーザーの立場で取り上げ、その対応策について検討し、道路政策への提案を行う。
- みちを支えるテーマとして、「活用」、「安全」、「暮らし」、「環境」の四つの柱について検討を実施。
- これまでに、「高速道路の有効活用」等について、将来の都市交通などを視野に入れた取り組み。
- アンケート調査などによる道路ユーザーからの生の声を基に、「スマートICの設置」などを提言。

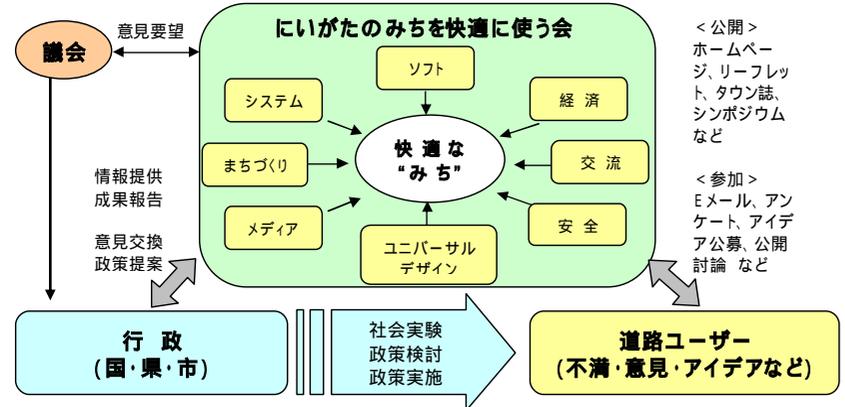
きっかけ



道の日座談会での議論をきっかけに会の設立の機運が盛り上がる。

平成15年8月10日 新潟日報

スキーム



メンバー

- | | |
|---|--|
| <p>会 長：新潟市長
 幹事代表：越のみちネットワーク女性会議
 幹 事：新潟商工会議所
 日本ホテル協会信越支部
 にいがた22の会
 まちづくり学校
 新潟市交通安全母の会
 ミユニバーサルデザインオフィス
 新潟日報社</p> | <p>篠 田 昭
 田 中 カツイ
 三 島 直樹
 宮 川 清
 長谷川 克弥
 小 嶋 弘一
 吉 田 綾子
 長谷川 美香
 小 田 敏三</p> |
|---|--|

事務局：新潟市都市整備局 土木部 土木企画課



平成16年度第1回使う会より

「にいがたのみちを快適に使う会」の活動状況

道路ユーザーとのキャッチボール

➤ 「国道49号横雲バイパス エンジョイ・ウォーク」で、参加者の皆さんにスマートインターチェンジについての直撃インタビューを行いました。



➤ アンケートなどを元に政策提言したものをリーフレットにして、新潟市役所及び各地区事務所の窓口、また近隣市町村の役場などに設置。
➤ HPでも公開。

会のホームページ

「にいがたのみちを快適に使う会」は、新潟市長を会長として、経路団体、まちづくり・交通安全・福祉・マスコミなどの市民団体で構成されており、「より良い道路がある」「にいがたにしたい」という思いから、道路ユーザーの立場で意見を伝える活動、提言を行っております。その対応策について検討・提案を行います。

私たちは行政と市民とのつな役として、一般の道路ユーザーからの意見（生の声）を基に問題解決へ導くべく、議員提案への提言を行います。

平成16年3月
にいがたのみちを快適に使う会

「道路政策への提言」報告
(高速道路の有償利用編)

道路政策への提言に向けて
(道路の安全・安心編)

平成17年3月
にいがたのみちを快適に使う会

URL : <http://www.niigata-no-michi.jp>

行政との意見交換・政策提言

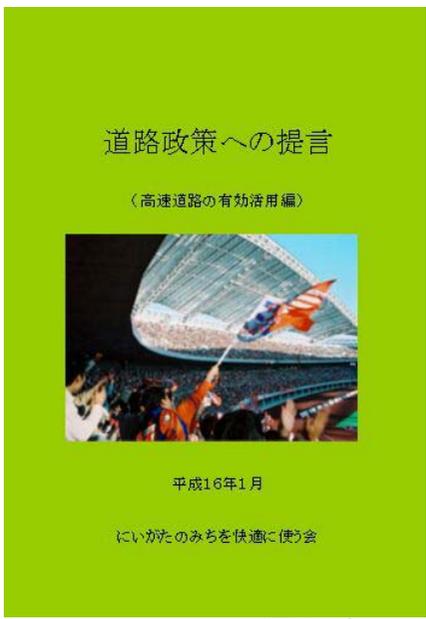
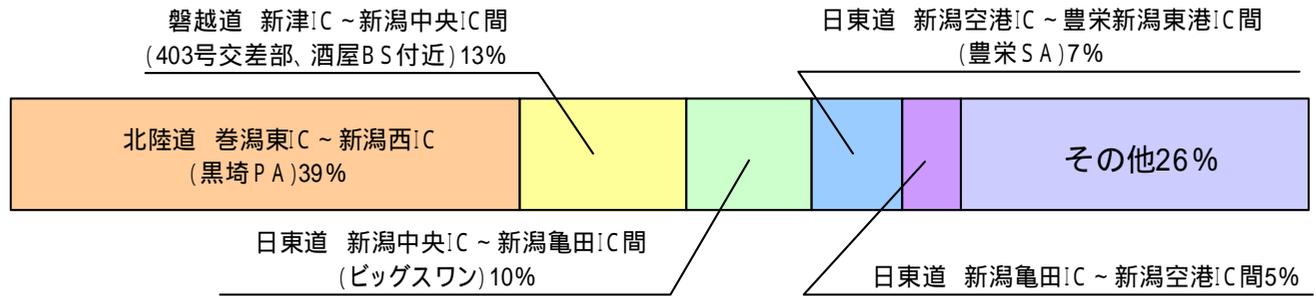
➤ 会長である新潟市長と幹事代表田中氏が、国土交通省へ行き、国土交通大臣、道路局長をはじめ、道路局高速国道課などの関係機関に本会の目的や、アンケート結果からの政策提言など説明



「にいがたのみちを快適に使う会」による提言～スマートIC社会実験

- 会からの提言等を踏まえ、昨年12月より、既存の新潟西ICと巻潟東ICの15.2kmの間に位置する北陸道黒埼PAにおいて、昨年12月よりスマートIC社会実験を実施。
- これまで高速道路を利用しづらかった地域にとって、高速道路がより使いやすく、身近なものとなった。

設問 スマートICを追加増設したい箇所はありますか？



提言書

【政策提言】
 「にいがたのみちを快適に使う会」は、快適で安全な生活を実現させるために、今ある道路を有効活用し、新潟都市圏の交通環境を向上させるべく、次の提言を行います。

1. 高速道路料金の見直し
2. スマートインターチェンジの設置
3. 将来の都市交通を見据えた幹線道路とのネットワーク

